

民間企業の先進的なテクノロジーを活用した心疾患患者の
健康管理に関する実証事業を開始します
～令和6年度スマートシティ実証補助事業第2弾～

千葉市では、スマートシティの実現に向けて、テクノロジーの活用などにより市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、令和4年度からスマートシティ実証補助事業を展開しています。

このたび、心不全等の心疾患患者を対象に、先進的なテクノロジーを活用し、心疾患の重症化予防のため、運動習慣の定着に向けた実証事業を開始しますので、お知らせします。

1 実証事業の概要

(1) 実施背景

千葉市では、健康寿命の延伸と不健康期間の短縮に向けて市民一人一人が、主体的かつ継続的に健康づくりに取り組むための環境づくりを目指しています。日本人の死因の第2位となっている心疾患は、再発を繰り返しやすい病気であり、患者本人の負担になるだけでなく、入退院を繰り返すことによる病床の圧迫や医療費増大を招き、社会的な課題となっています。

心疾患の重症化予防対策として、最新テクノロジーを活用した、一人でも自宅で安心して運動に取り組める運動習慣獲得支援サービス「みえるリハビリ」を提供し、“時間や場所を問わない”継続可能な環境整備、健康意識の向上に取り組めます。

(2) 実証事業の対象者

心疾患患者 50人

※協力医療機関（千葉大学医学部附属病院、なかむら医院、両市立病院）で運動実施の許可を医師から得た方。

※実証事業参加者は協力医療機関を通じて募集中。

(3) 活用するデジタル技術

本実証事業では、世の中に広く普及しているスマートフォンやウェアラブルデバイスといったICT機器を活用するとともに、心疾患患者に特化したアプリ「みえるリハビリ」で患者のリハビリに関する運動データやバイタルデータを収集した上で、運動状況を可視化し、自宅等での運動をサポートします。



スマートウォッチ
(Apple Watch、Fitbit) 無償貸与



スマートフォンアプリ
「みえるリハビリ」



「みえるリハビリ」
活動の記録画面

(4) 実証の流れ

協力医療機関と連携し、本実証事業の対象者となる心疾患患者を募集します。心疾患患者自らが自宅等でスマートウォッチを活用し、運動目標（心拍数）による管理、生成AIを活用したフィードバックメッセージ、患者応援サポート等の人的支援により、心疾患患者の運動習慣獲得を目指します。

※生成AIを活用したフィードバックメッセージは日本電信電話株式会社 社会情報研究所の「肯定的な衝動を誘発する内発的動機付けメッセージ生成技術」（特許出願済）を活用しています。

※患者応援サポートは、緊急医療相談や生活習慣病重症化予防の事業を運営する東京海上日動メディカルサービス株式会社にNTTコミュニケーションズ株式会社から業務委託し、両社が連携して提供します。

運動習慣獲得支援事業



※Apple Watch は、米国もしくはその他の国や地域における Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。Androidは、Google LLC の商標または登録商標です。Fitbit は Fitbit, Inc. の商標です。

実証の流れ イメージ図

2 実施事業者

NTTコミュニケーションズ株式会社

3 実施期間

令和6年11月7日（木）～令和7年3月28日（金）（予定）

※11月7日から、サービスを開始します。

4 今後について

本実証事業を通じて、心疾患患者の運動目標の達成状況（運動習慣獲得状況）や、行動変容アプローチ等に対する効果検証を踏まえ、健やか未来都市ちばプランの推進に活かします。

また、NTTコミュニケーションズ株式会社は「みえるリハビリ」で採用する行動変容アプローチの更なる高度化を行い、全国の自治体が運動習慣獲得支援・疾患の再発防止に継続して取り組むための提案を行い、社会実装を目指します。

<参考>

1 NTTコミュニケーションズ株式会社

NTTコミュニケーションズ株式会社は1999年に設立され、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を活かし、ネットワーク、クラウド、データセンター、アプリケーション、セキュリティ、AIなどの多岐にわたるICTサービスを展開しています。

2022年にドコモグループにおける法人事業の中核を担う企業となり、「ドコモビジネス」ブランドのもと5G・IoTなどを活用した社会・産業のグローバルレベルでの構造変革、新たなワークスタイルの創出、地域社会のDX支援などの価値を提供しています。

○ホームページ

【URL】<https://www.ntt.com/about-us/company-profile.html>



2 スマートシティ実証補助事業について

(1) 概要

スマートシティの実現に向けて、テクノロジーの活用などにより市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、地域課題の解決や新たな価値の創造に資する民間企業等が行う実証事業の実施に要する経費等の補助を行う事業。

(2) これまでに実施したスマートシティ実証補助事業

<令和4年度>

- ・動物公園におけるAIやカメラを活用した来園者予測等
- ・ウェアラブル端末の装着により収集されるデータを活用した特定保健指導

<令和5年度>

- ・先進的なテクノロジーを活用した千葉氏のPR
- ・生成AIを活用した区役所窓口業務支援

<令和6年度>

- ・先進的なテクノロジーを活用した下水道施設の効率的な維持管理

問い合わせ先

<スマートシティ実証補助に関すること>

総合政策局未来都市戦略部スマートシティ推進課 電話245-5427

<実証事業に関すること>

保健福祉局健康福祉部健康推進課 電話245-5226

保健福祉局健康福祉部健康支援課 電話238-9922